

2017 年 9 月 7 日

世界で初めてインクジェット印刷技術を用いてフレキシブル基板を実用化する エレファンテック株式会社への出資を決定

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、インクジェット印刷方式でフレキシブル基板を開発するエレファンテック株式会社*（本社：東京都文京区、代表取締役：清水信哉、以下「エレファンテック」）の第三者割当増資を引き受け、同社の事業の成長資金として 3 億円を上限とする出資を行うことを決定しました。また、既存株主に加え、今回新たに大和企業投資株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原藤雄）が管理・運営する投資事業有限責任組合も同社への出資を決定しており、総額 5 億円の資金調達となります。

*：旧 AgIC 株式会社が 2017 年 9 月 4 日付で商号変更

エレファンテックは、東京大学で研究された技術をもとに、インクジェット印刷と銅めっきを用いてフレキシブル基板と呼ばれる電子回路基板を開発・製造するベンチャー企業です。リジッド基板に対し、フレキシブル基板は折り曲げることができ、薄くて軽量、かつケーブル配線の代替が可能という特徴があります。通信アンテナや自動車の配線などに使用されるほか、産業用ロボットやウェアラブル端末向けにも導入されるなど、今後、より一層の市場拡大が見込まれています。

従来、フレキシブル基板は、「版」を使用して、基板全面に貼った金属の不要な部分を溶かす製法で製造されています。エレファンテックでは、必要な部分にのみ金属を含んだインクを塗布するプリンテッド・エレクトロニクス技術を採用し、さらに銅めっきで処理を行う独自の製造技術確立しています。その結果、従来製法で必要だった「版」が不要となり、材料、工程が削減され、大幅なコスト削減と納期の短縮化を実現しました。同社製のフレキシブル基板は、製造業における多品種小ロット生産や試作工程などに活用されることで、従来ボトルネックとなっていたコスト、納期を大幅に改善することが期待されています。

INCJ は、エレファンテックの革新的な技術が、第四次産業革命を支える日本の製造業の発展に貢献するとともに、国際競争力の向上にも寄与することを期待しています。加えて、大学発ベンチャー企業と大企業による産学連携を支援し、オープンイノベーションを加速させ、ベンチャーエコシステムの構築を目指します。

エレファントテック株式会社について

設立	2014 年
事業内容	プリント・エレクトロニクス製造技術の開発、サービス提供
所在地	東京都文京区
代表者	代表取締役 清水 信哉
URL	https://www.elephantech.co.jp/

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202 URL : http://www.incj.co.jp/